

「惣菜鉢」*¹

菅野弘之*²

Side dish basin

Hiroyuki Kanno

*¹ 備前登り窯による焼締め

*² 長崎大学教育学部芸術表現講座 准教授 工芸（陶芸）担当

・黄ゴマ、サンギリ、ボタ等の窯変が見られる。一般的に備前の登り窯焼成では本焼き1回の焼成であるが、本作品は、素焼きをした後に本焼きを登り窯で行った。焼成における窯傷が胴にあるが、本焼き焼成を行ったときに出来たものである。窯傷と器・内側の意匠が偶然呼応するようになった。

本作品はサマでの焼成ではないが、現在、サマにおける割れや壊れについて検証していこうとしている。

